

・専門用語など新聞そのものについての知識も学べた。コロナの記事ひとつとっても、新聞社によって違いが見えて興味深かった。教えていただいたことを意識しながら新聞を読んでいきたい。

・質問したことにもあったように「下準備」の大切さを痛感した。特に「下調べをした」ということを取材相手に少し伝えるいうところが興味深かったので、うまい具合に使っていきたい。

・見出しとリードの大切さを再認識した。これから記事を書いていく中でも生かしていきたい。印象に残ったことは「思いの共有」で、取材する際も受け手の気持ちを大切にしたい。

・メモ書きについての話が強く印象に残った。「簡略化と整理したメモ書き」をもとに、記事に関しては5W1Hを意識した記事を書きたい。

・記事に写真と図が与える影響が興味深いと感じた。記事の完成度をも左右するので、新聞製作の上でも大切にしていきたい。

・「ニュートラルな気持ちと笑顔」の大切さを認識した。取材前に迷った気持ちのまま取材していたこともあったので意識しつつ、講座であった「話し言葉をどう書き言葉にするか」を実践的に活用したい。

・新聞の書き手ではなく読み手としての立場も解説していただいたので新鮮だった。今までの講座とは違った視点も画期的だったので、どんどん参加したい。

・「分かりやすく簡易なメモ」を心がけたい。というのも、取材の際に必要以上に多く書いてしまうことがあったので、読者という第三者の存在を忘れず記事執筆に励みたい。

・記事の出来を左右する「写真と図」というものが印象的だった。新聞を読む上でも目に入るものなので、意識しながら発行においては大切にしたい。

・実際に全員が新聞をめくる時間があり、「新聞を読む」ハードルが下がったと思う。非常時に「読者を励ます記事が必要」というのが印象的だった。普段から病氣療養中や育児・介護に疲れた人を励ます記事が書けるようになりたい。

・メモを取るとき、これからは自分の感じたことも書くようにしたい。取材では個人の声を大切にしないといけないとあらためて感じた。数やデータは客観的事実として必要だが、それに留まってはいけないと思った。